

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

22B-01

代表者：イベント実行委員長 川島秀男

URL : https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index025.html

1. 活動が必要とされた状況

太郎右衛門自然再生地は、都市部近郊で豊かな自然環境が残されており、地域固有の生物多様性の確保や自然と共生する社会の実現への貢献が期待される地域である。

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会は、自然再生事業や協議会の活動を広く一般に知っていただくため、イベントを開催し普及啓発に取り組んでいる。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

「自然再生地の見どころ発見！ツアー」

実施時期：令和2年1月18日 参加人数：20名

活動内容：自然再生地の旧流路ではハシビロガモやマガモ、草地ではタゲリ等の野鳥を観察した。また、自然再生地周辺の堤防では、ウマノズクサを食草とするジャコウアゲハ(蝶)が蛹のまま越冬している様子も観察することが出来た。さらに、荒川の特徴である幅広い河川敷を利用した治水対策や台風第19号による洪水の痕跡等を見学した。



カモ類の観察



タゲリの観察



ポスター・チラシ

3. 活動の成果

イベントには、ポスターやチラシを見て参加していただいた方が多く、広く一般に公募した成果だと捉えている。

参加者は、自然再生地を散策しながら多くの野鳥を観察することで自然再生地の豊かな自然環境に興味を抱いていただけたと思われる。

4. 今後に残された課題

今後も自然再生地をフィールドとして、自然を体験しながら学べるイベントを企画し、リピーターや新規の参加者を募っていく必要がある。

2020年度はデザイン専門学校から提案があった広報ツールを活用したイベントを企画し、自然再生地の普及啓発に取り組んでいきたいと考えている。